

水俣病問題から

学ぼう！と

水俣病未認定患者会の一つである不知火患者会が国、県、チツソを相手に損害賠償を求めた訴訟は、今年の3月25日、熊本地裁で和解が成立しました。

「公害の原点」ともいわれる水俣病が、公式に確認されてから55年、患者救済にとって節目の年となりました。しかし、水俣病全体の解決という点では、積み残された課題も多いといわれています。

水俣病は、昭和31年（1956年）、熊本県水俣市で最初に確認された公害病です。水俣市にあるチツソ水俣工場では、当時、化学工場としてさまざまな化学製品を作っていました。その原料（アセトアルデヒド）を作るときに毒性の強いメチル水銀が発生し、工場排水と一緒に水俣湾へ流されました。流されたメチル水銀は、魚介類に取り込まれ、その魚介類を人々が長い間食べることにより、水俣病が発生したのです。

水俣病が発生して、どんな被害があったのでしょうか？

水俣病患者は、水俣湾周辺を

中心とする八代海沿岸で発生し、多くの人々が水俣病による健康被害を受け、苦しみは今も続いています。

また、チツソ水俣工場の排水により、水俣湾には水銀を含んだ大量のヘドロが海底に堆積し、環境が汚染されました。海底に堆積したヘドロの厚さは、4mに達するところもあったそうです。そのため、水銀によって水俣湾の魚介類は汚染され、人々は魚を捕ったり食べたりすることができなくなりました。

さらに、水俣病の原因がはっきりしなかったころから、水俣病は空気を通じて人から人へうつる病気だと誤解され、患者が出た家には、人が近づかなくなったり、就職や結婚が断られるなどの差別が発生しました。これらのいわれのない差別や偏見をかたよった見方は、被害者や家族を大変苦しめました。

正しい知識を持って、差別や偏見をなくしましょう！

水俣病は、工場排水と一緒にメチル水銀が水俣湾へ流されたことにより発生したのです。空気で感染したり、さわって



県環境センターで、水俣病について学ぶ子どもたち

つつたりする病気ではありませんが、しかし、水俣病がどのような病気なのか正しく理解されてこなかったために、被害者や家族は差別や偏見を受け、大変つらい思いをしてきました。今でも、水俣病を正しく理解していないために「さわるな、うつる」といった差別的な発言もあっています。

私たちは、水俣病に限らず何事においても、正しい知識を持つとともに、相手の思いをしっかりと受け止め、うわさや風評にまどわされず行動していくことが大切です。

益城町教育委員会

ふるまの地名遷歩

歴史の変遷と地名

334

矢嶋姉妹周辺⑬

札幌農学校第2期生で、第一高等学校長、東京女子大学学長などの教育者であった新渡戸稲造は、宗教教育がない日本で善悪の判断は何によるかと質問され、「武士道・副題、日本の心」を明治32（1899）年に英文で出版し、日本の精神文化の根源は神・佛・儒の融合である「武士道」にあると西欧に紹介しました。第26代米国大統領セオドア・ルーズベルトはこれを読んで感激し、その後、明治37（1904）～38（1905）年の日露戦争で軍費が枯渇し疲弊した日本を救うため、日露の講和を斡旋したとの逸話が残ります。

読売新聞は報じています。一方、米国の詩人でコロンビア大学教授文化人類学者のルース・ベネディクトは昭和19（1944）年に日本の敗北、米国の日本統治を想定した米軍の依頼で、日本文化理解のための研究を始め昭和26年（1951）年「菊と刀」を出版しました。その中で、武士道に説く道徳は日本人の普遍的道徳として、中世期には完成していたと論じています。

また「武士道」出版から95年後の平成7（1995）年にギリシャ国会議員で47歳のヴィン・ポルドラス氏が、日本人の規律・名誉・忠誠心など、武士道の基礎となった孔子の儒教は古典時代のギリシャと同時代であり、しかもギリシヤ精神と一脈相通じ、特に忠義の死（切腹）はホメロスやソフォクレス悲劇にも通じるとして、「武士の法典」と題して出版したと平成7年7月27日の

東北の被災地の人々の整然とした秩序ある行動は世界中の賞賛の的ですが、今ここに日本人の精神文化の気高さが証明されています。

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策



中世期から江戸期までの家庭用児童教育書実語教「童子教」